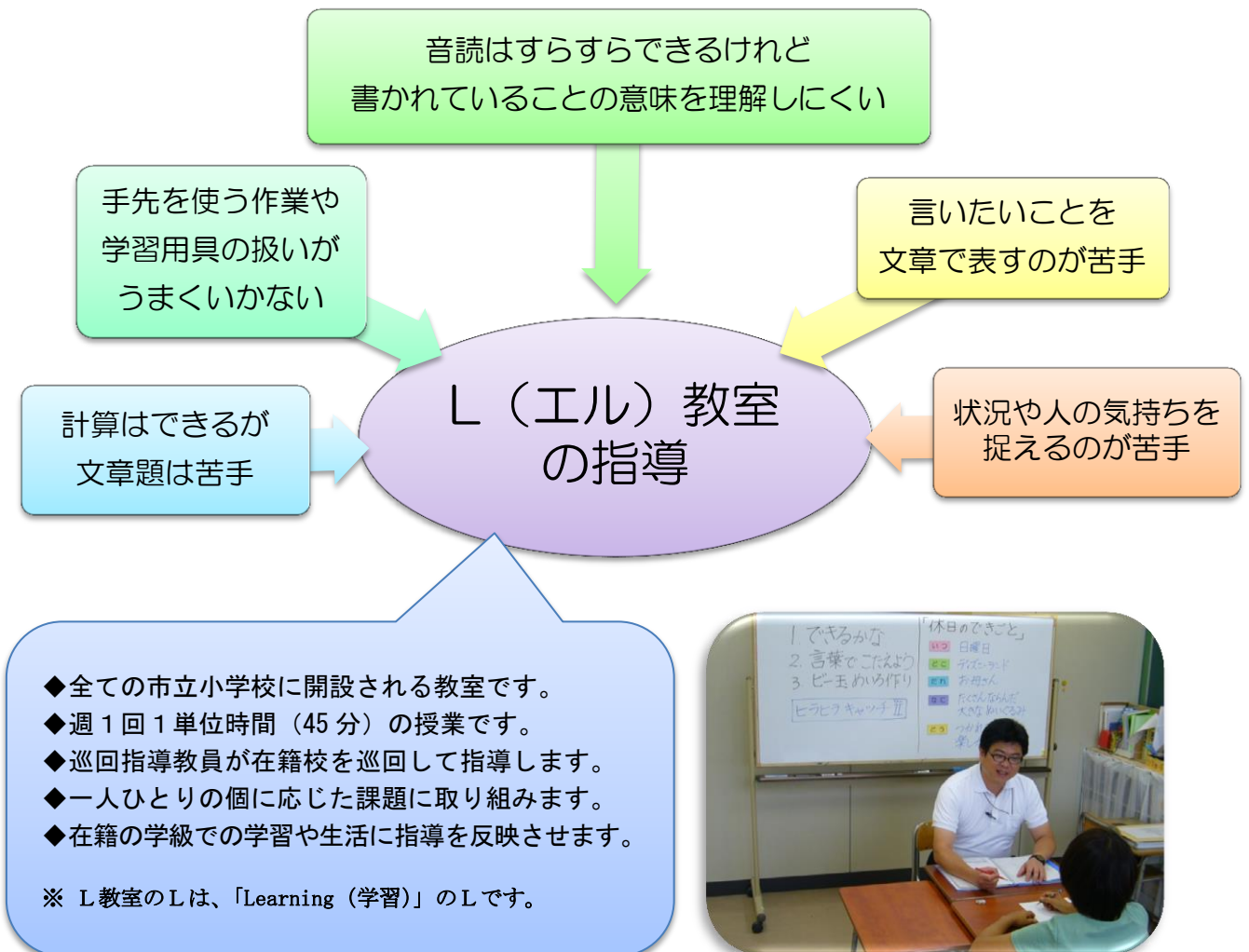


L (エル) 教室のご案内

～ このような課題はありませんか？ ～



時間割の中に、週 1 時間 L (エル) 教室での学習を取り入れることで、自分の苦手なところを克服し、毎日の学校生活をより充実させることができます。
※補習のための教室ではありません。

利用の申込み

- ◇ 担任教員や特別支援教育コーディネーター教員等にご相談ください。
- ◇ 指導の開始と終了は、学校と教育委員会との連携による委員会で、お子様の学びに合った支援を検討し、判断することになります。お気軽にご相談ください。

【問合せ先】 各 学 校：管理職・学級担任・特別支援教育コーディネーター
教育委員会：教育部教育支援課 TEL 042-438-4074 (直通)

L 教室の内容

■ 1回の指導のスケジュール例

- 児童の実態に併せて、45分授業を以下のように分割する等の工夫をします。

5分	10～20分	10～20分	10～20分	5分
ウォーミングアップ	指導①	指導②	指導③	まとめ
あいさつ 本日の予定 目当ての確認 ※グループで行うこともある	個別課題	個別課題	個別課題	振り返り あいさつ ※グループで行うこともある

■ 指導内容

- 児童の実態を把握し、個別のニーズを考え、指導に繋がります。

ア. 言語事項	言葉と言葉のイメージの広がりや適切な使用
イ. 聞く・話す	日常生活をテーマにして、考えや言いたいことを上手に伝える。コミュニケーション、相手の状況を察知したやり取り等、相手の立場、視点に立った表現や言葉の使用などを指導する。
ウ. 読み・書き	読みの特徴の把握 黙読、区切り付け、キーワード拾い、音読 特殊音節の表記
エ. 文字の使用	短文、熟語づくり、穴埋め
オ. 数量の基礎となる概念	個別化、分類（類別）、対応、保存、数の合成分解、数の移動、数量の言葉
カ. 論理性の基礎	量と測定、表とグラフ、図形、文章題
キ. 社会的認知	曖昧な状況設定での判断、課題遂行時の暗黙の了解、態度の変化
ク. 学習態勢	注意の配分、衝動性のコントロール、切り替え、意欲、評価への反応
ケ. 運動機能	ボディイメージ、感覚統合、粗大運動、微細運動、協応運動

■ 指導計画 <1クールのスケジュール例>

- 前期と後期に分け、各10回程度を1クールとして課題を達成していきます。

回数	1～3回	4～6回	7回	8～10回
内容	児童のニーズの把握 指導への導入 担当者が児童と仲良くなる	個別課題の 指導	保護者への説明の ための面談	個別課題の 指導

■ 年間の流れ <年間のスケジュール例>

	前期	中間会議	後期	後期会議
巡回指導	実態把握と 指導内容の確立	今後の支援方針 の確認	在籍学級で実践する ための具体的方法の 試行と児童への定着	指導効果の検証 課題の確認
在籍学級 との連携	在籍学級の 担任からの情報	在籍学級の 個別指導計画へ	在籍学級での実践	
保護者との 連携*		保護者面談		保護者と共有

※児童の実態把握のため、保護者の協力のもと、成育歴を伺ったり発達検査を受けていただくことがあります。